

目次

序
目次

序 章 民俗編の目指すもの

第一節 民俗編の目的と視角

- 1 民俗編の目的…………… 3
- 民俗編とは何か 民俗編のねらい 民俗編刊
行の意義
- 2 民俗編の視角…………… 5
- 民俗編の構成 オカ・ハマ・マチ・都市

第二節 横須賀というフィールド

- 1 横須賀の位相…………… 8
- 日本の中の横須賀 横須賀の中の日本
- 2 横須賀と民俗編…………… 15
- 各章の概要 未来に向けて 民俗編を読むに
当たって

第一章 生きる

第一節 ハマに生きる

- 1 漁と観天望気…………… 23
- 天気予測 一年の天気占い 西の風 東
の風
- 2 漁と海…………… 30
- 西の潮 東の潮 漁と潮 海の民俗空間
- 海底のようす 海の地名 貝の名前
- 3 漁の技…………… 46
- 漁場の判断 漁場と漁法の関わり 漁のリズ
ム 大漁と信仰 ヤマの意味 西のヤマ
東のヤマ
- 4 漁の戦略…………… 59
- モグリの技 ミヅキの技 イソドリの技
- 一本釣りの技 タコツボの技 相模湾岸の漁
の組み立て 東京湾岸の漁の組み立て
- 5 漁具にみる技―タコツボを中心として―…………… 78
- 素材と形の変遷 タコツボ漁の時期とタコ
- ヒトツパリ タコツボの手入れ セメント製
- タコツボの製作道具と工程 タコツボの孔
- タコツボ漁と尋 横須賀タコを支えてきたタコ
- ツボの特徴
- コラム1 タコツボの餌…………… 97
- 第二節 オカに生きる
- 1 オカと農業…………… 98

横須賀地域の農業	横須賀地域の水田
2 久留和の谷戸の稲作	半農半漁の暮らし
	長坂の水田
	稲作の農事暦
3 津久井の牛込の稲作	専門農家
	稲田
	稲作の農事暦
4 畑作	オカの地形と土壌
	津久井の土壌
	畑作物
	フズキグワとオオグワ
	麦作
	サツマイモ作り
5 観光農園	柑橘栽培の適地
	観光ミカン園の開設
	ミカン園の台風対策
	育苗と植え替え
	摘果と剪定
	害虫駆除と撒水
	温室ミカンの試み
	観光イチゴ園
	観光農園の年間スケジュール
6 牧場と酪農―横須賀の牧場と牛乳―	横須賀の牧場草創期
	横須賀の牧場と練乳製造
	「牧場銀座」
	畜霊塔に刻まれた牧場主
	王冠は語る
	戦争と「牧場銀座」の終焉
第三節 ワザに生きる	1 横須賀の職人
	職人の技と道具
	ハマとオカの職人
	マチと都市の職人

137

123

117

113

107

101

第二章 暮らす

2 ハマの職人	長沢のツボヤキ	タコツボの種類	タコツボの製造工程	ツボヤキ家業
3 オカの職人	土木建築の石材	追浜の石屋	石屋の技術と用具	石屋の仕事着
	石切りの最後とその後	石出し	船積み	
4 マチの職人	左官の多い浦賀のマチ	建築工法の変化とその影響	左官仕事の材料	さまざまな道具
	壁塗りの工程	壁塗りの技術	土蔵の補修	職人集団と技術伝承
	職人の日常			
コラム2 職人横丁				
第一節 ハマとオカにみる暮らしの立て方	1 漁と農と副業―北下浦地区	長沢		
	暮らしの環境	集落	ハマとオカのとらえ方	ハマの暮らしを支えた仕事
	「男は漁、女は農」	番屋で働く男衆	水産物の加工と販売	イワシの稼ぎ
	イワシの加工と桃の栽培	ハマの農業	オカの暮らしを支えた仕事	「農と副

175

169

156

152

143

業、山仕事と出稼ぎ」 谷戸の水田 畑作

山仕事 山仕事の用具 籠作り 籠の種類

と製作技術 縄綯い

2 漁と半農半漁と農―西地区 久留和……………188

暮らしの環境 ハマとオカのとらえ方 ハマ

の暮らしを支えた仕事「夫婦協働の漁」 魚屋

出しと漁協出し タコツボ漁 タコツボ漁の

餌 タコツボ漁で出会う「月と太陽」 ワカ

メの加工方法 延縄漁と餌掘り オカの暮らし

しを支えた仕事「半農半漁と農」 農家の気質

3 漁と農と商―西地区 長井……………196

暮らしの環境 ハマとオカのとらえ方 ハマ

カタとネガタ 神社と寺 ハマの暮らしを支

えた仕事「漁に出る男、家を守る女」 ツキン

ボ漁とタコ漁 漁師を支える女たち 漁業の

減少に伴う漁師の身の振り方 オカの暮らしを

支えた仕事「畑作と稲作」 宿の賑わい 漁

師の大買い物 商家の背景 宿の銭湯 宿

の路線バス 宿の火災

4 農と出稼ぎ―西地区 太田和……………208

暮らしの環境 町内会と長生会 オカの暮らし

しを支えた仕事「農と出稼ぎ」 上の里の水田

柑橘類の栽培 野菜の行商

第二節 住まい

1 ハマの住まい……………214

海との共存 主屋の間取りと使い方 土間の

衰退と浜の小屋

2 ハマにおける水と燃料の調達……………216

横須賀の上水道 井戸 井戸の管理 井

戸にまつわる思い出 湧水の利用 燃料

シオツキ拾いとホトケサマ

3 オカの住まい……………218

屋敷構え 主屋の間取りと使い方

4 オカの住まいの原風景……………225

屋敷と裏山 主屋の間取りと使い方 井戸

付属建物

5 オカにおける水の調達……………230

井戸と水みち 井戸の形状 井戸の管理

水にまつわる苦労話

6 オカにおける燃料の調達と風呂……………233

燃料と明かり 風呂

7 オカの相互扶助と共同作業……………234

カヤをめぐるつきあい カヤ刈り カヤマル

キと背負い出し

第三節 着物

1 木綿栽培と綿布織り……………237

	木綿栽培の歴史と三浦木綿	浜浅葉日記にみる
	木綿栽培と綿布織り	木綿栽培と綿布織りの伝承
	紡織用具から読む綿布織りの工程と技術	
	養蚕と絹布織り	
2	衣料の調達	257
	衣料の新調	衣料の購入
	と衣料の避難	戦時中の衣料配給
	再生品の衣料	
3	ハマの仕事着	258
	漁師の仕事着	半纏
	祝	仕事着の洗濯
		万
4	オカの仕事着	262
	男性の野良着	着物の尻はしよりと腰巻
	ワギとモンペ	ウ
	草履と草鞋	蓑と笠
	馬力	
	屋の仕事着	
5	着物の仕立てと管理	267
	衣替え	着物の格式
	着	支那鞆に収められた古裁縫の技術習得
		洗濯と洗い張り
コラム3	戦火を越えたモンペ	東京から浦賀へ
273		
コラム4	千人針に込めた思い	275
277		
第四節	食べ物	
1	主食	277
	米の自給と購入	米麦の調製
		麦飯
		粉
2	副食と間食	279
	ハマでの魚介類の調達	オカでの魚介類の調達
	魚屋の商い	ハマの子どもたちの魚介捕り
	オカの子どもたちの川魚捕り	野菜
		間食
3	漁の食べ物と酒	284
	朝飯と弁当	カツオ船での食事
	口のハラワタぶるまい	カジキマグ
	師と酒	大漁祝の餅菓子
		漁
4	調味料と茶	286
	味噌と醤油	茶作り
5	炊事と食事	288
	かまどと釜屋	炊事の燃料
	食品の保冷	食事の場と座
第五節	「橋本家奥日記」にみる衣食住	
1	橋本家について	291
	出身地と生業の変遷	橋本家奥日記の背景
2	衣料と身だしなみ	292
	洗濯と針仕事	土用干し
	髪結いと散髪	衣料などの購入
		お歯黒の習俗
3	日常の食事と折節のごちそう	296
	日常の献立	食事の賄い
		もてなし料理
	年中行事の食べ物	贈答とおすそわけ
4	住まいの管理	300

大掃除 井戸替え 風呂焚き
第六節 浦賀ドックをめぐる暮らし

1 浦賀ドックの繁栄……………306

浦賀ドックの創設 従業員の福利厚生施設

従業員教育 職場の安全祈願

2 ドックをめぐる町の暮らし……………312

町の賑わい 喧騒と静寂 華やかな進水式

立ち飲み屋の繁盛 愛宕山の花見 浦賀の花

火大会 祭りにかける情熱

3 職工の暮らし……………318

日々の暮らし 通勤手段 職工の弁当と終戦

後の食糧難 給料日の悲喜こもごも 社宅の

暮らし 娯楽と親睦

コラム5 浦賀の床屋……………326

コラム6 浦賀ドックの閉鎖……………327

第七節 軍都ヨコスカの暮らしと文化

1 横須賀製鉄所からはじまる「軍都ヨコスカ」の

賑わい……………329

マチと都市のとらえ方 「軍都ヨコスカ」の発

展と下町 職工で賑わう下町 下町と上町を

つなぐ平坂 歓楽街

2 北部の谷戸の都市化……………335

長浦湾沿岸と谷戸の変容 谷戸の景観 軍需

部前駅の開業 谷戸の宅地化 徴用工員宿舍

と市営住宅 十三峠の墜落事件と終戦直後の開

墾 谷戸の暮らし 谷戸への来訪者

3 住宅地と商業地の広がり……………343

内陸部に広がる住宅地と商業地 ドブの流れと

町内の区分 建設ラッシュと職人衆 池上の

宅地化と旧道沿いの商店街

4 横須賀のパン文化……………346

蒸餅とパン 横須賀製鉄所とフランスパン

横須賀のパン文化と製パン業 横須賀製パン業

の年代記 パンと菓子 クリスマスケーキと

正月の餅 官納 学校給食パン 横須賀

のフランスパンの謎 歴史から探る横須賀のフ

ランスパン プロのパンと家庭のパン 製パ

ン職人の技術

5 明治時代の広告にみる洋食文化の広がり……………365

下町に誕生した西洋料理店 西洋料理店の開業

広告 明治末期の西洋料理店 洋菓子と冷菓

飲料 牛乳

6 洋装店にみる戦後横須賀の女性ファッション史……………370

女性の日常着の洋装化 洋装店開業までのいき

さつ オーダーメイドの繁盛 オーダーメー

ドの技術 生地の販売開始に伴う客層の変化

洋装店経営のさまざまな工夫	グラフィックデ
ザイナーと島田章三画伯	店舗工房の新築とス
タッフの充実	生地の種類と流行
既製服の	既製服の
台頭	高度経済成長期の高級品販売とブライダ
ルコーナー	既製服の頭打ちと営業内容の方向
転換	三本柱での洋装店経営
小売店の生き	
残り術	
7 戦後のどぶ板通りの復興物語……………	380
どぶ板通りの由来	雨戸一枚からの商売
スーベニアショップの開業	どぶ板通り繁盛記
スーベニアショップから飲食店開業へ	
8 横須賀ブランド「スカジャン」物語……………	384
スーベニアショップと刺繍ジャンパー	ベトナ
ム戦争終結による売上の減少と再興	刺繍ジャ
ンパーから「スカジャン」へ	刺繍ジャンパー
の素材と製作技術	
コラム7 よこすか海軍カレー	
—海軍レシピを今に伝える—……………	407
1 海の道・陸の道……………	411

第三章 集う・運ぶ・商う

第一節 道と往来

海からの道	陸の交通網
坂道とトンネル	
馬力屋稼業	
2 衣笠の町と成り立ち……………	417
法塔の十字路	駅の開業と新しい町の誕生
商店街の賑わい	
3 町のよろずや……………	422
地域のサロン	景勝地だった秋谷海岸
ハイ	
カラな兄	店の跡を継ぐ
出合いの場として	の店
4 旅館にみる人と物の往来—逸見館の女将に聞く—……………	427
仙台から横須賀へ	三代目女将になる
行商	
人の宿	いろいろな客
旅館の仕事	
コラム8 横須賀の県人会……………	435
第二節 三浦富士に集う人々	
1 三浦半島の富士信仰……………	437
三浦富士	三浦半島の富士講
富士講の雨乞	
い	富士講の戦勝祈願
2 講社の活動と先達……………	445
講組織と活動	富士講の先達
加持祈禱	
丸伊講・高陽講の活動	
3 三浦富士の山開き……………	450
山開きの準備	長沢の宵宮祭
津久井浅間神	
社奥宮例祭	お焚き上げと塩加持
祈願と授	

与物

4 富士登拝……………460

登拝行程 観光バスを利用した登拝 御師と

宿坊

5 富士信仰の現状……………467

富士講の衰退 ひとり先達 現今の先達の活

動

第三節 ハマで働く女性たち

1 漁業の移り変わりと女性たち……………471

百姓漁師とハマの女たち 磯物採取 ノリ・

ワカメ養殖 イワシ巻網会社の賄い仕事

2 地域水産物流通にみる女性の役割……………476

イサバとボテ 今も続く水産物行商 おすそ

わけ ハマの女たちの組織「漁協女性部」

3 遊びと保養の場としての海……………483

海の家 釣船業

コラム9 あこがれのアイドルと三浦海岸へ……………486

第四節 軍都と商店の賑わい

1 船越の町と賑わい……………487

船越新田から海軍の町へ 商店街と花街 勘

定日の賑わいと強制疎開

2 新井屋旅館と御用商人……………493

創業のころ 問取りとしつらえ さまざまな

旅館の役割 軍港と観光

3 三笠ビルの誕生……………500

三笠銀座商店街から三笠ビル商店街へ 立案か

ら建設まで 新名所となった三笠ビル

4 池の端の弁天市……………503

「池の端」の由来 戦後の商店街と売り出し

売り出しから「弁天市」へ 一〇万人の出入

5 八百屋と魚屋……………508

八百屋の修業 八百屋を育てる 八百屋の技

量と客の応対 三代続く魚屋 冠婚葬祭と魚

屋 「魚屋らしく」

6 電器店からみた高度経済成長……………513

「町の電器屋」誕生 商品と陳列 電器店と

招待旅行

コラム10 浦賀漁港の賑わい……………519

第五節 「都会」の百貨店

1 「都会」横須賀と百貨店……………521

横須賀の発展と百貨店の開業 戦前の店員たち

の生活 物が売れた戦後の時代 さんづけの

百貨店 変わる三浦半島 利用客からみたま

いか屋

2 百貨店の商い……………528

呉服売り場 婦人服売り場 食品売り場

テナント店「北辰」 食堂 屋上遊園地

3 商いを支える人々……………537

事務職 顧客係 外商員 職制と仕事内容

従業員の日常と節目

コラム11 女中奉公……………545

第四章 祝う

第一節 地域の祝い

1 ハマの祭礼・行事 (1) オンベ焼き……………549

呼称・日時・実施場所 子どもとオンベ 道

祖神とオンベ焼き 各地域の現状 長岡のオ

ンベ作り

2 ハマの祭礼・行事 (2) 海の行事……………564

淡島神社の雛流し 船祭と神輿の浜降り 灯

籠流し 浜施餓鬼

3 オカの祭礼・行事……………573

武山の初不動 谷戸の講中 神神輿の巡行

長沢の天照大神の祭礼 荒井の道切り・注連縄

作り

4 社寺と小祠……………590

神仏に託す願いと祝い どぶ板通りの延命地藏

尊 秋谷の関根御滝不動尊 久留和の日月様

と新箸の祝い 伊勢町の観音様 大津町諏訪

神社の茅の輪くぐり 長光寺の大根加持 若

松町大鷲神社の酉の市

5 都市の祭礼……………604

祭りの創造 地域イベント 花火大会 四

大国際式典 日米親善イベント カレーによ

るまちおこし よこすか開国祭 ハロウィン

の登場

コラム12 サンマタ……………613

コラム13 道祖神の奉納旗……………614

第二節 家の祝い

1 ハマの年中行事……………615

「家の祝い」のとらえ方 県漁撈習俗調査と市

文化財総合調査から 正月の行事 春から夏

の行事 盆の行事 秋から冬の行事 ハマ

の年中行事の伝統と特徴

2 オカの年中行事……………624

『衣笠地区古老のはなし』の資料的価値 正月

の行事 春から夏の行事 盆の行事 秋か

ら冬の行事 オカの年中行事の伝統と特徴

オカとハマの関係

3 マチの年中行事……………635

マチの代表としての西浦賀 正月／いのちの更

新 春から夏の行事／ミソギ・ハライ 盆／先祖との交流／タママツリ 秋から冬の行事／フユ・コモリ 民俗の変化と失われた民俗 正月と盆……………	648
--	-----

子安の正月知らず／縁起を担ぐ正月 佐島の墓 施餓鬼 新盆の寺参り 盆のオシヨロサマ作り 須軽谷の盆行事 太田和の盆行事 お十夜……………	656
--	-----

5 年中行事の変化変容……………	659
------------------	-----

コラム14 節分の楽しみ……………	661
-------------------	-----

コラム15 保育園の年中行事……………	663
---------------------	-----

第三節 個人の祝い

1 誕生の祝い……………	663
--------------	-----

出産と月経 子産石と安産の祈り クセヤミと帯締め団子 地域で活躍した産婆 三つ目のぼたもち 母乳育児と産後の諸儀礼 誕生にまつわる俗信……………	669
--	-----

2 結婚の祝い……………	693
--------------	-----

恋愛とアシイレ ネットリの活躍とぼたもち話 「重い」と言うべき嫁の荷物 落ち着きのぼたもちと豆投げ 嫁の引き渡しと祝宴 自宅で行なった結婚式の事例 新婚旅行と嫁ご披露……………	693
--	-----

3 長寿の祝い……………	674
--------------	-----

厄年と捨て子 還暦／喜寿／米寿 お百度参り／病気見舞い 医師を戸板で運ぶ ポックリ往生の願い……………	677
---	-----

4 死の儀礼と供養……………	681
----------------	-----

伝統的な葬式の諸儀礼 遺体処理と儀礼 火葬の話 タチビ／四十九日……………	681
---------------------------------------	-----

5 葬祭業者と現代社会……………	684
------------------	-----

自宅葬から式場へ 日本で最初の冠婚葬祭互助会 横須賀の葬儀事情 墓のこと 三回のぼたもち／人は三度見られるということ……………	684
---	-----

コラム16 明治女の気っ風……………	685
--------------------	-----

第四節 西浦賀の女性が語る個人の祝い

1 個人史と通過儀礼……………	690
-----------------	-----

西浦賀の話者 齡子さんの子ども時代 女学校 戦時中の結婚式 東京大空襲のころ 出産 写真館を始める……………	690
--	-----

2 齡子さんの語る誕生の祝い……………	693
---------------------	-----

安産信仰のオンメサマ 帯締め団子の伝承 赤子が生まれるとき 三つ目のぼたもち／名付け お宮参り／食い初め／お誕生／七五三……………	693
---	-----

3 愛子さんの語る長女の出産と葬式……………	693
------------------------	-----

銭湯でシカン談義 未熟児の出産 名付けて……………	693
---------------------------	-----

育てる 幼児の葬式

4 齡子さんの語る厄年・長寿の祝い、死の儀礼と供養…696

厄年と厄落とし 長寿祝いのあれこれ 病氣

見舞いの民俗 葬式と通夜 各種の死者儀礼

葬列と火葬 四十九日とタチビ

5 財部家の葬儀書類にみる役割と儀礼…699

昭和二年の香典帳 葬式の係分担と贈答品

聞き書きと史料

コラム17 落ち着きのぼたもち…704

第五章 語る・遊ぶ・祈る

第一節 話の世界

1 ハマの怪異と伝承…707

ハマの伝承 海で出遭う怪異 怪異の要因と

場所 流れてきたホトケ

2 オカのよもやま話…716

話の楽しみ 暮らしの中の神様たち 子安の

今昔を語る 動物にまつわる話 オカハマの

村の伝説

3 日本武尊伝説…725

横須賀の日本武尊伝説 走水神社創建伝説

日本武尊の巡行経路 房総半島へ渡った日本武

尊 日本武尊に助力したトクサドン 走水の

日本武尊にまつわる地名 弟橘媛をまつた橘

神社 日本武尊の兵士をまつた十王堂 弟

橘媛の入水伝説 弟橘媛命の記念碑と舵の碑

長浦町の弟橘媛伝説

4 頼朝伝説…750

横須賀の頼朝伝説 馬堀の蹄の井 文献にみ

る蹄の井 文覚畑 頼朝出世占い 頼朝手

植えのツツジ

5 三浦大介伝説…762

三浦大介百六つ 腹切松 鶴の井の由来

三浦介と妖狐退治

第二節 子どもの遊びと暮らし

1 日々の遊び…769

遊びの中で さまざまな遊びと遊び場 春か

ら夏の遊び 夏のハマ遊び 秋から冬の遊び

駄菓子屋と子ども

2 行事と子ども…782

祝祭の担い手としての子ども オンベと子ども

久留和のオンベン 稲荷講と子ども 花見の

楽しみ 神神輿と子ども 盆の送り火と精霊

船 十五夜の団子盗み モノビの楽しみ

3 子どもの働き…793

家業と手伝い 長男の役割 学童疎開と勤労
 奉仕 子どもから若い衆へ

コラム18 老人と子ども……………797

コラム19 子どものけんか……………798

第三節 病をめぐる不安と祈り

1 身近な言い伝え……………799

俗信とまじない 出産と子育て 身体と病

禪はサメ除け 天気占い

2 祈願とご利益……………805

瘡守稲荷 子育て地藏 いほ地藏 信誠寺

の大銀杏 虫歯に効く位牌 三命地藏 眼

病に効く両面地藏 東光寺のおびんづるさん

能満寺の蝸薬師

3 病魔退散の行事……………811

円乗院のへちま加持 荒井の道切り 為朝神

社の虎踊 八雲神社の狸々坊

コラム20 茶店から見た瘡守参詣……………816

終章 横須賀、ヨコスカ、YOKOSUKA

テーマⅠ 横須賀の文化環境……………821

テーマⅡ 横須賀を時代ときで読む……………835

テーマⅢ 「横須賀らしさ」と将来像……………850

あとがき

執筆分担

お世話になった方々

横須賀市史編さん関係者名簿

『新横須賀市史』発刊計画

掲載図版一覧……………(36)

引用・参考文献一覧……………(27)

索引……………(1)